

八洲電機グループの体制

各種ISO取得をはじめ、多数の経験豊富な有資格者が高品質なサービスを提供

八洲電機グループでは、お客様の多様なニーズにお応えし、高品質なサービスが提供できるよう万全の体制を整えております。ISO14001、ISO9001、ISO27001の取得に加え、各種施工管理技士をはじめとした有資格者が多数在籍しております。

ISO取得状況



環境マネジメントシステムに関する国際規格であるISO14001を取得しています。

- 登録事業所: 本社、エンジニアリングセンター、関西支店、中国支店、岡山支店、東北営業所、千葉営業所、周南営業所、大分営業所、福岡営業所、八洲ファシリティーサービス(株)、八洲産機システム(株)、八洲制御システム(株)、八洲環境エンジニアリング(株)、八洲情報システム(株)



品質マネジメントシステムに関する国際規格であるISO9001を取得しています。

- 登録事業所: 中国営業部中国産業インフラ課、インフラエンジニアリング二部インフラ技術二グループ



情報セキュリティマネジメントシステムに関する国際規格であるISO27001を取得しています。

- 登録事業所: 八洲情報システム(株)ソリューション一部、二部



登録事業所: 八洲制御システム(株)本社、本社工場、小河原工場、関西営業所、関東営業所、中部事業所、中部事業所 板金工場



登録事業所: (株)三陽プラント建設

有資格者の状況(八洲電機)

資格者 (2021年4月1日現在)		
建築士	1級	1名
技術士	電気・電子部門	2名
電気工事施工管理技士	1級	144名
	2級	4名
電気通信工事施工管理技士	1級	8名
建築施工管理技士	1級	7名
土木施工管理技士	1級	12名
管工事施工管理技士	1級	46名
	2級	2名
監理技術者	機械器具設置	21名
電気工事士	1種	21名
	2種	13名
電気主任技術者	1種	1名
	3種	7名
特種電気工事資格者	非常用予備発電装置	13名
自家発電設備専門技術者	据付工事部門	17名
	甲種	2名
危険物取扱者	乙種	17名
	丙種	4名
	甲種	3名
消防設備士	乙種	2名
	甲種	2名
建築物環境衛生管理技術者		2名

登録		
一級建築士事務所	許可番号	東京都知事登録第61249号
	登録年月日	2016年12月5日
事業許可関連		
特定建設業	建設業の種類	土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、屋根工事業、電気工事業、管工事業、鋼構造物工事業、ほ装工事業、塗装工事業、防水工事業、内装仕上工事業、機械器具設置工事業、電気通信工事業、水道施設工事業
	許可番号	国土交通大臣許可(特-2)第5842号
	許可年月日	2020年12月17日
	建設業の種類	消防施設工事業
一般建設業	許可番号	国土交通大臣許可(般-2)第5842号
	許可年月日	2020年12月17日
電気工事業	通知番号	経済産業大臣み通第22001号
	通知年月日	2010年1月13日
高圧ガス販売事業届	届出番号	東京都知事29票改保高第6508号
	届出年月日	2017年6月20日

(2021年4月1日現在)



森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を採用しています。



VOC(揮発性有機化合物)などを含む湿し水が不要となる水なし印刷を採用しています。



環境対応型インキである「植物油インキ」を使用しております。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

お問い合わせ先

八洲電機株式会社

〒105-8686 東京都港区新橋三丁目1番1号 社長室 CSR部 TEL: 03-3507-3233 FAX: 03-3507-3999

<https://www.yashimadenki.co.jp/>



八洲電機株式会社

「地球環境保全」と
「持続可能な社会」への
貢献を通じて、
企業としての社会的責任を
果たしてまいります。

CONTENTS

01	イントロダクション	13	事業紹介
02	トップメッセージ	16	特集 新しい生活様式に 対応したサービス
03	75年のあゆみ		
05	ビジネスフィールド	17	コーポレート・ガバナンス
07	ビジネススタイル	19	ダイバーシティ
09	事業概要	21	健康経営の取組み
10	中期経営計画	22	環境活動報告
11	主要グループ会社紹介	裏表紙	八洲電機グループの体制



代表取締役会長兼社長

太田 明夫

Message

新型コロナウイルスによる感染は続いており、皆様におかれましては、感染拡大防止のための対策を講じられていることと推察いたします。一日も早くこの新型コロナウイルス感染症が収束することを願うばかりです。

八洲電機グループは昨年に引き続き、在宅勤務の実施、オフピーク通勤の徹底などの対策を継続して、感染拡大防止を図るとともに、お客様にご不便をお掛けしないよう事業を継続してまいります。

八洲電機グループは、経営ビジョンである「クオリティーの高いサービスを通じ、お客様とともに価値を創造するベストプランナーとして環境配慮型社会に貢献する」ため、エンジニアリング会社としての技術力を駆使し、お客様の様々なニーズに対応した付加価値の高い省エネ製品、システム製品を提供する事業を通じ、社会に貢献しております。また、従業員の健康を積極的に支援する健康経営の推進を通じて、組織の活性化や生産性の向上を図り、「未来ある社会へ」貢献することを宣言し、実行しております。

さらに、2020年4月から当社本社ビルの電力を、CO₂が排出されないバイオマス燃料を利用した再生可能エネルギーに切り替え、2020年度実績で約300トンのCO₂排出削減となりました。引き続き再生可能エネルギーの利用を継続し、地球温暖化防止に向けさらに貢献してまいります。

これからも、八洲電機グループは事業活動を通じた社会への貢献をはじめ、環境技術分野における研究開発支援、地域貢献活動、ボランティア活動など持続可能な社会の構築に向けた活動を推進してまいります。

八洲電機75年のあゆみ

1946年 「八洲電機商会」を創立

八洲電機の「八洲(ヤシマ)」とは、創業者・落合完二が世界に通用する会社を築きたいとの思いから、古事記や日本書紀に記されている、日本国の古称、八つの島の「大八洲」に由来します。また、八洲の「八」は「末広がり」に通じることから社章にもデザインを採用し、末長い会社の発展を願い創立記念日を8月8日としました。



創業の地・神田須田町の
八洲電機商会

1953年 千住サービスセンターを開設

日立サービスセンターの看板を取得し、千住サービスセンターを開設しました。



開設時の
千住サービス
センター

1960年 社名を八洲電機(株)に改める

社会状況の変化に合わせ、「八洲電機商会」から「八洲電機株式会社」に社名変更しました。



特約店看板

1962年 本社ビル完成・移転 「八洲ビル」を竣工(地上10階・地下1階)



竣工後間もない八洲ビル(新橋)

1976年 八洲電機サービス(株)を設立 (現八洲ファシリティーサービス(株))

空調・産業機器及び設備の修理・保守、リニューアル工事を行う総合サービス会社として設立しました。

1988年 (株)中国パワーシステムを設立

電気事業用設備機器及び付帯設備、保守、メンテナンスなどの電力特約店として設立しました。

2001年 ISO14001認証取得



環境マネジメント
システム登録証

2009年 東京証券取引所市場第二部に上場



「株式上場」の実現で成長企業へ

2011年 東京証券取引所市場第一部に上場



第一部に上場時に掲載した広告(日本経済新聞)

2011年 幸栄電機(株)を子会社化 (現八洲制御システム(株))

受変電設備から制御盤までのトータルソリューションをお客様に提供することを目的として子会社化しました。

東日本大震災の義援金を寄附

2013年 「八洲の環境レポート2013」を発刊



2014年 八洲環境技術振興財団が公益財団法人に認定 「港区ごみ減量優良事業者等」表彰



2016年 「創立70周年記念事業」 として新本社ビル竣工



最新のICT(情報通信技術)を導入するとともに、地域景観に配慮し、防災対策等BCP(事業継続計画)対応設備の充実や最新の環境・省エネ技術を駆使した環境配慮型ビルとなっています。

2017年 八洲産機システム(株)を設立

八洲電機(株)の産業電機機器事業を分社化し、設立しました。

2017年 エンジニアリングセンターを開設

エンジニア同士が技術交流を深め、付加価値の高いソリューション提案を生む環境を創出しました。

2018年 八洲環境エンジニアリング(株)を設立

八洲電機(株)の空調工事業業を分社化し、設立しました。



(株)三陽プラント建設を子会社化

受変電設備等の各種プラント工事の設計・施工を目的として子会社化しました。

2019年 八洲情報システム(株)を設立

八洲電機(株)の情報・通信システム事業を分社化し、設立しました。

2019年 (株)西日本パワーシステムを設立

九州地区における水力発電設備事業の展開を目的として設立しました。



八洲芝公園ビルを開所 エンジニアリングセンターを移転

技術本部の中枢として八洲芝公園ビルを開所し、エンジニアリングセンターを移転しました。



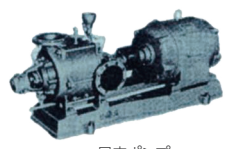
創業から2000年まで

2001年から現在

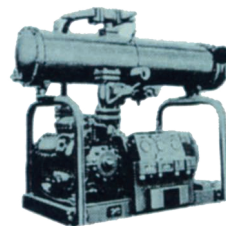
国内復興と高度成長期を支え事業を多角化

技術力を駆使し環境配慮型社会に貢献

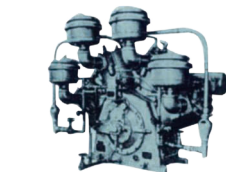
当時の製品



日立ポンプ



日立冷凍機



コンプレッサー

事業の多角化

家電需要の増大、空調・冷凍・冷蔵市場の拡大に対応して子会社等を新設



八洲家庭電器(株)



初期の日立卓上電子計算機(1967年)



1968年当時の
日立パッケージエアコン



1970年代の京王帝都電鉄車両



レシプロ圧縮機(3,400kW)



日立8ビットパソコン(1987年)

自然エネルギーを活用した 省エネシステム



大規模太陽光発電設備(メガソーラーシステム)



マイクロ水力発電

施設環境の最適システム化



プラント向け受変電設備



空調設備

省エネ環境製品の提供



航空灯火システム



トプランナー方式の変圧器



モノレール



省エネ鉄道車両

ウイルス感染症対策製品



簡易型陰圧ブースユニット

人々の生活を豊かにする 八洲のエンジニアリング力

八洲電機グループでは、『ソリューション・エンジニアリング力』を活かした環境技術・サービスをお客様へ提供し、「地球環境保全」と「持続可能な社会」の実現に貢献しています。

電機制御システム

鉄鋼メーカーを中心に生産性を向上させるファクトリーオートメーションを展開しております。受配電設備、無線遠方監視システム、製品自動搬送システム、水処理設備など、PLC制御を用いた幅広い分野に対し、現場調査、設計、製作、施工、試運転に至る一貫したソリューションを提供し、付加価値の高い提案型エンジニアリングで、お客様の生産性向上に貢献しています。また、製造現場における安全確保が厳しく求められる中、安全PLCを使用し、国際安全規格に適合した安全システムを提供しています。



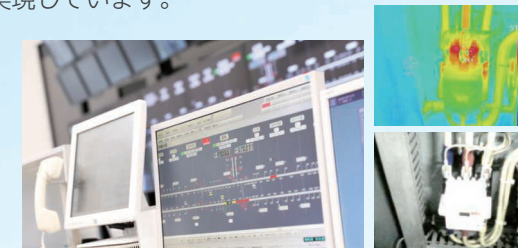
環境システム

空調システム技術では一般空調設備、清浄度・温湿度・室圧を制御したバイオセーフティシステム等の特殊空調設備、冷蔵・冷凍室の低温設備、工場向けのユーティリティとして冷熱源設備・圧縮空気設備を提供しております。また、新型コロナウイルス感染症対策として、医療・介護施設等に対し、可動式陰圧ブースユニットの製作・設置により感染拡大防止に貢献しています。



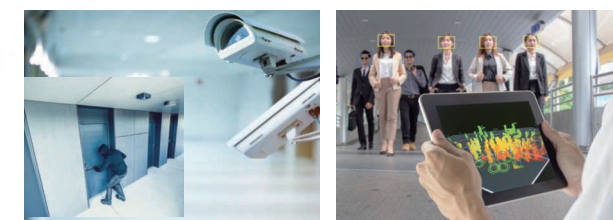
交通システム

交通システムでは、運行・電力管理システム、受変電システムをはじめ、車両基地における検修設備、分岐装置など幅広い分野に対し、計画・設計・施工・アフターサービスに至るまで、「現場密着」を強みとしたエンジニアリングで、安全・安定輸送に貢献しています。また、IoT技術を活用した旅客案内、業務支援、メンテナンスの効率化・品質向上で、お客様の成長を支えるソリューションを提供します。最近では、設備状態の常時監視を提案しており、故障の早期発見、点検時期・更新時期の適正化などお客様の予防保全向上を実現しています。



情報システム

情報システムでは、AI技術を用いた画像認識による侵入監視システム、ウイルスの感染拡大を防止するための体表面温度監視システムなど、最先端の情報ソリューションを展開しています。また、ビル・工場の入退室管理などのセキュリティシステム、交通機関の列車運行情報、駅構内や改札の混雑状況をモバイル端末などにリアルタイムに配信するサービス、モバイル端末とGPSを活用した災害や事故を防止するシステムなど、お客様の様々な課題解決に対し、サポートしています。



エネルギーシステム

エネルギーシステムでは、自然エネルギーを有効活用し、CO₂削減に寄与したエコ発電システムを提供しています。マイクロ水力発電においては、あらゆる条件に対し、長年培った電機制御技術を活用し、水車の選定、制御盤などの電気品を提供しております。カーボンニュートラルの活動やBCP対応など、お客様の社会貢献を支えています。



The Power of YASHIMA

八洲電機の強み

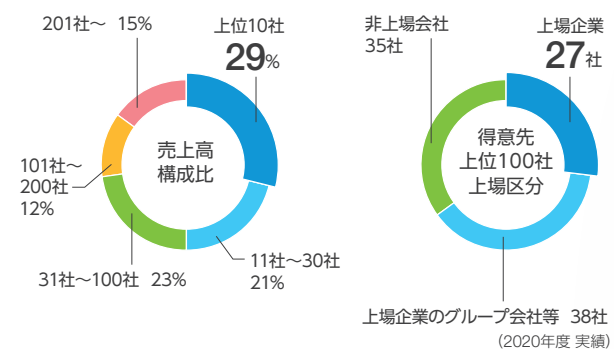
コア技術を活用し、当社のエンジニアリング力で、大手企業をはじめとした3,000社を超えるお客様の環境・省エネなどのニーズにお応えし、様々なソリューションを提供しています。

また、当社のビジネススタイルであるコーポレートインで、迅速丁寧にお客様をサポートします。

お客様基盤

鉄鋼、石油、医薬品、紙パルプ、鉄道などの様々な業種、3,000社を超えるお客様と取引をしています。

創業以来、実績と信用を積み重ね、多数の企業のお客様と継続的な取引をしております。



コーポレートイン

専門技術者を常駐させ、お客様目線で最適なソリューションを提供します。

当社の専門技術者をお客様の事業所内に常駐させ、お客様の立場となって最適なソリューションを提供します。これにより、お客様のニーズや課題に対して迅速な対応を実現できます。



コア技術

5つのコア技術で、設計・施工・保守等を行い、お客様の多様なニーズにお応えします。

さらにコア技術を「技術ソリューション力」等で横断的に進化・融合し、お客様にとって最適なソリューションを提供します。

コア技術				
電機制御システム	環境システム	交通システム	情報システム	エネルギーシステム
最適化を実現するため設計から行う	ニーズに応じ様々な環境を作り上げる	鉄道事業のニーズにお応えする	様々な情報を取りまとめ、伝達を実現する	再生可能エネルギーを活用する
技術ソリューション力		それぞれのコア技術を進化・融合し問題を解決する		
プロジェクトマネジメント力		案件ごとに取りまとめを行う		
総合エンジニアリング力		設計・調達・工事等を連携させ提供する		
アライアンス構築力		日立グループ会社をはじめとした、最適なパートナーと協業し提供する		

コア技術

当社のビジネスのイメージと、エンジニアリング力を活かしたビジネススタイルについて紹介します。

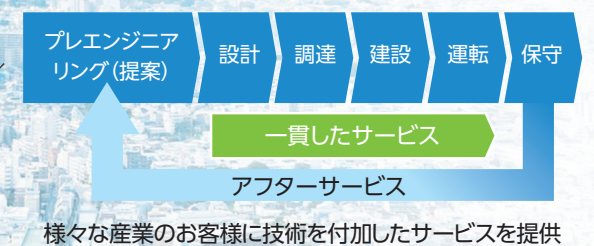
て、お客様が工場や事務所等への際、最適なシステムの構築を行います。提供し、環境・省エネ・高効率化等



エンジニアリングフロー

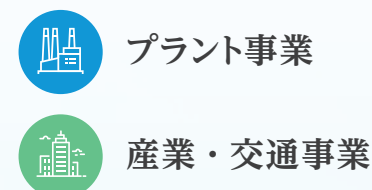
様々な産業のお客様に技術を付加したサービスを提供します。

製品を販売するだけでなく、プレエンジニアリングから、設計、調達、建設、運転、保守、アフターサービスまでを一貫して行い、当社の技術とともにサービスを提供します。



セグメント

八洲電機グループはソリューション・エンジニアリング力の強化にさらに注力し、2020年4月より2つのセグメントでお客様の多様なニーズにお応えしてまいります。



プラント事業

鉄鋼・石油・エネルギーなどのプラント分野に最先端技術で貢献

事業内容

省エネ化、高効率化への対応及び老朽化更新による設備管理の充実といったニーズに、最先端機器と八洲ソリューション技術を組合わせたシステムを提供しています。

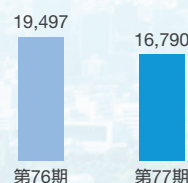
主要取扱製品

鉄鋼システム、自家発電設備、受変電・配電設備、圧延設備、電機制御、生産管理システム、これらに関わる保守・メンテナンスサービスなど

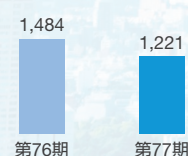
セグメント別実績



売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



産業・交通事業

化学・医薬品・紙パルプ・機械・電気機器・精密機器・鉄道などの幅広い業界に貢献

事業内容

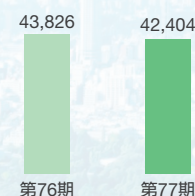
産業分野では空調・冷熱・圧縮機などの環境制御、省エネに配慮した照明やITソリューションなどを提供し、鉄道分野ではインフラの整備・構築を手掛け、安全・安心な社会に貢献しています。

主要取扱製品

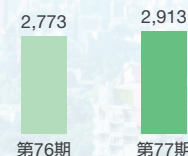
空調設備、照明設備、受変電システム、セキュリティシステム、車両及び車両電気品、駅設備関連システム、これらに関わる保守・メンテナンスサービスなど



売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



八洲電機グループ 中期経営計画 (2020～2024年度) について

当社グループは、2020～2024年度の事業運営の指針となる中期経営計画を策定し、下記のとおり取組んでおります。

計画を実現するための「基本戦略」に加えて、集中して取り組む「重点戦略」を新たに策定し、当社グループ一体でさらなる成長戦略を推進してまいります。

中期経営計画 (2020～2024年度) 活動方針

目標値 2024年度 (2025年3月期)

連結売上高700億円、連結経常利益35億円、経常利益率5.0%

ビジョン

高度情報化時代に対応し、社会に貢献する「エンジニアリング会社」として、付加価値の高い技術・サービスを提供し、

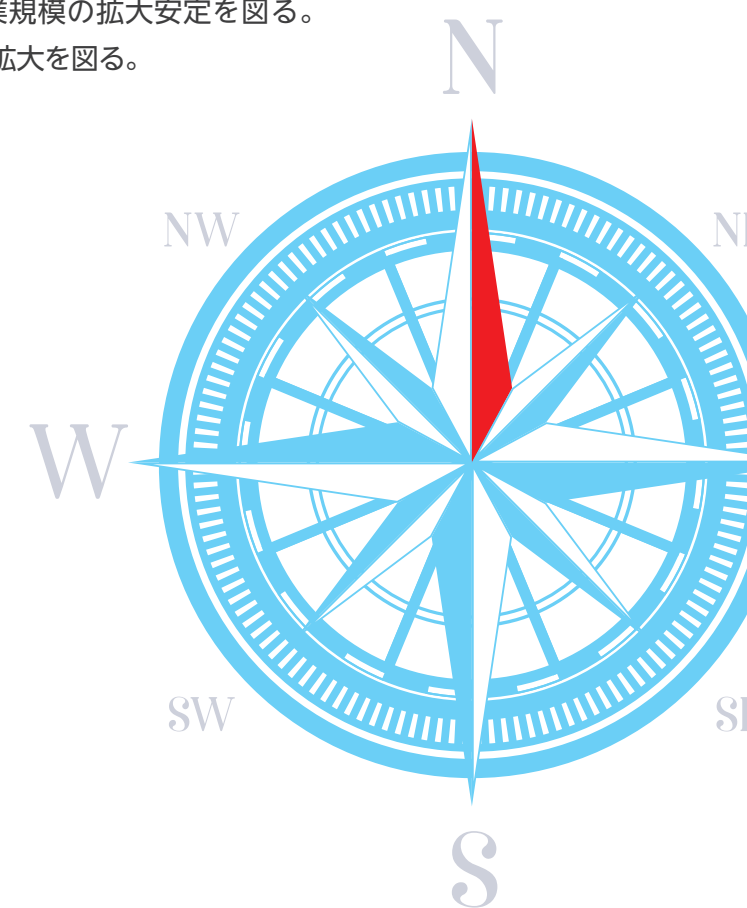
お客様とともに未来を創る。

基本戦略

- 1 八洲独自の「エンジニアリング会社」の推進を図る。
- 2 ビジネスパートナーの拡大及び新規商材を創出し事業規模の拡大を図る。
- 3 M&Aを実施しエンジニアリング力の強化及び事業規模の拡大安定を図る。
- 4 八洲電機グループ力強化によるビジネスチャンスの拡大を図る。
- 5 ワークスタイル変革により生産性の向上を図る。
- 6 コンプライアンス及びCSR活動を推進する。

重点戦略

- 1 顧客戦略:顧客の投資に対しエンジニアリングで貢献し「収益の拡大」を図る。
- 2 地域戦略:顧客の戦略投資エリアの攻略をし「事業規模の拡大」を図る。
- 3 グループ戦略:総合エンジニアリングの創出による「収益の拡大」を図る。
- 4 コストマネジメント戦略:エンジニアリングを中心としたコスト最適化による「収益の拡大」を図る。
- 5 営業戦略:新たな販売・製品パートナー創出による「事業領域の拡大」と「収益の拡大」を図る。
- 6 技術戦略:コア技術を時代の変化に適応・成長させ「事業領域の拡大」と「収益の拡大」を図る。



グループ会社とともに 最適なソリューションを 提供いたします

プラント事業 産業・交通事業

プラント事業グループ
Plant Business

産業・交通事業グループ
Industrial and
Transportation
Business

八洲ファシリティサービス株式会社

八洲ファシリティサービス(株)は、空調関連製品(空調機・冷凍機等)及び産業機器製品(空気圧縮機・ポンプ・クレーン等)のメンテナンス(修理・保守・整備等)を主体にこれら設備のリニューアル工事までをトータル的に請負うサービス会社です。

設立以来、45年にわたり東京都(荒川区)、神奈川県(厚木市)、栃木県(宇都宮市)の3拠点と埼玉県(川口市)のメンテナンスステーションを活用し、首都圏一円のお客様の大切な資産でありますビル、工場設備の維持管理をサポートしております。

これからも引き続き、お客様第一の立場でさらなる高品質で付加価値の高いサービスを目指してまいります。



空調機 (パッケージエアコン)

八洲産機システム株式会社

八洲産機システム(株)は、市場の変化に対応した産機製品・サービス・ユーティリティ設備工事事業をより進化させ、環境配慮型社会へ貢献しております。

また、(株)日立産機システムの特約店として、主にドライブシステム・空圧システム・受配電システムなど各種産業電機機器の販売から、IoTを活用した既設納入品のサービスや保守点検を行うリカーリングビジネスに加え、昨今の省人化・自動化ニーズに対応するシステムソリューションの提案など、お客様視点でのフルサポートを実現いたします。



産業電機機器製品

八洲制御システム株式会社 (旧 ヤシマコントロールシステムズ(株))

今年度は6月に新工場が竣工し、社名を八洲制御システム(株)に変更いたしました。制御盤の設計・製造及び販売・メンテナンスを通して社会に貢献し、業歴47年目になりました。

新たな本社工場で生産体制の充実及び拡大を図るとともに、「設計」「製缶・塗装」「組立」「検査」の一貫生産体制を強みに、長年培ってきた「高度な電気・計装技術」を通じ、お客様の多岐にわたるニーズにお応えし、より付加価値のある制御盤を提供できる企業を目指しております。

八洲電機グループ唯一のメーカーとして安全遵守と品質管理に努めるとともに、創業時からの「信頼(CS)と技術に生きる」という顧客第一主義の方針に沿ったより良いサービスを提供し、技術者集団として信頼強化に努めてまいります。



八洲情報システム株式会社

八洲情報システム(株)は、位置情報を使用した安全・安心システム、設備や機器からの情報を収集する監視システム、入退出管理や監視カメラといったセキュリティシステム、駅や列車の情報をリアルタイムに配信するサービスやデジタルサイネージなど、お客様の現場フィールドに近い分野を軸に事業を展開しております。

5Gのサービスがスタートし、産業界でのAI(人工知能)やIoT(モノのインターネット)などの技術を活用し、システム構築から運用サポートまでお客様に最適なソリューションをご提供してまいります。



株式会社三陽プラント建設

(株)三陽プラント建設は、1957年4月の設立以来、長年蓄積された技術と経験を活かし、安全を最優先に八洲電機グループ及び日立グループ各社の「交通システム分野」をはじめ「変電設備」「鉄鋼・石油プラント」「公共施設」などにおいて、電気・機械設備工事の設計から施工までを展開し、総合技術力でお客様に満足いただける確かな品質を提供いたします。また、6月には新本社ビルが竣工予定であり、社会や働き方の変化に対応した「働き方改革」を推進し、働きやすい環境を作り、生産性の向上を目指して取り組んでまいります。

八洲環境エンジニアリング株式会社

八洲環境エンジニアリング(株)は、2018年4月に八洲電機(株)の空調工事事業を分社化し、本年で設立4年目を迎えました。

当社は、現在まで築き上げてきた知見や技術力、施工力を通じ、オフィスなどの一般空調からクリーンルームなどの特殊空調、さらに冷凍・冷蔵設備を提供することで、様々な空間への快適性をお届けしております。

最近では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、病院や介護施設等におけるウイルス・細菌等の病原体による感染拡大防止を目的とする「排気HEPAフィルターユニット」を組み込んだ簡易型陰圧ブースユニットの提供も行っております。

昨今、「持続可能な社会」や「環境保全」が地球規模で叫ばれるようになり、省エネルギーによるCO₂排出量の削減による「地球温暖化の防止」が急務になっています。

当社では、ライフサイエンス分野・インダストリアル分野における環境制御の開拓者として、省エネ対応のみならず、「安全」「安心」「信頼」の確保をより具現化した製品やシステムのご提案により、さらなるトータルソリューションをご提供し、環境配慮型社会の構築へ貢献してまいります。

株式会社中国 パワースystem

(株)中国パワースystemは、1988年2月の創業以来、中国電力(株)様及びそのグループ各社様に、火力、水力発電設備・受変電設備機器の販売及びサービスを展開しております。メーカーと一体となった営業活動を通じて、中国電力(株)様の経済的で安定的な電力事業に貢献しています。

電力事業が大きな変革期を迎えている中、新規事業、新分野等に対して八洲電機グループと連携を図り、取り組んでまいります。



株式会社西日本 パワースystem

(株)西日本パワースystemは、2019年4月に営業を開始いたしました。九州地区にて水力発電設備機器の販売及びサービスを中心に営業活動を行い、お客様にとって最適なソリューションを提供いたします。



「薬品容器包装製造新工場クリーンルーム」



空調屋外機据付・配管作業



クリーンルーム空調室内機高所吊込み配管作業

プラント事業

Plant Business

人々の生活を支える最先端コーティング新工場

建設プロジェクトの設備設計・製作・施工を強力サポート

産業界では、IoT化などデジタル技術の発展に伴い、利便性向上等、新たな付加価値を生み出す技術革新の波が急速に高まっています。JFE精密株式会社様の案件では、切削工具、各種金型・治工具等に耐摩耗性、耐腐食性、潤滑性などを付与する高機能被膜の新工場建設に際し、長年の経験に基づくノウハウと最新技術を駆使し、さらなる作業効率化に寄与しました。

導入事例のご紹介

JFE精密株式会社様



JFE精密株式会社 設備部
(左から) リニューアル室 FAエンジニア 木原 謙治様
リニューアル室 室長 植木 研三様 設備技術室 室長 半田 雅之様

貴社の事業についてお聞かせください。

当社は、新潟の地で旧日本鋼管（現JFEスチール）が1935年に事業所を設立して以来の歴史を紡いでいる会社です。

その主力事業の一つが「コーティングの受託処理業」です。コーティングとは、切削工具や各種の金型・治工具類等お客様からお預かりした母材の表面に、わずか数 μm の各種の被膜をつけることで、性能を大幅に向上させる技術です。

具体的には、耐摩耗性や離型性・耐凝着性・耐腐食性を向上させ、生産性やコストに大きく貢献します。

当社では、JFEグループの技術開発力をベースに、お客様の多様なニーズにお応えすべく、最適な種類の被膜のご提供や新規被膜開発に力を入れております。

この様に、お客様一人ひとりの課題と向き合い、製品ひとつからでも、心をこめてコーティングをするという気持ちを表したのが、ロゴマークの「ココロコーティング®」です。ハートマークは「握手する手と手」と「私たちの心」を表現しています。

新工場についてお聞かせください。

現在、当社は事業所の「リニューアルプラン」を推進しています。その第一弾として、2020年5月にコーティングの新工場を建設致しました。

この新工場では、複雑化した動線などの問題を刷新するとともに、新たにIoT化やオートメーション化にも積極的に取り組み、お客様の広範なニーズにお応えする「スマートファクトリー」を実現しました。

また、これにあわせて、新たに国内初となる大型高機能炉を導入しました。射出成形機部品のスクリーやブローチといった長尺品や大径品の処理が可能になるとともに、プレス・鍛造金型に多くの実績のある自社開発被膜「VSX®-V」や中～高硬度材の切削加工に優れた効果を発揮する新被膜「VSX®-MJ」の処理能力も大幅に増強しております。

八洲電機の対応はいかがでしたか。

今回の「リニューアルプラン」では初期検討の段階から、八洲電機さんに参画いただき、電気、機械設備や配管について設計・製作・施工を行って頂きました。その間、延べ3年の歳月を費やし、技術検討会は20回以上となりました。

また、旧工場の設備の移転工事にあたっては、工場が操業を停止する5月の連休という限られた期間でしたが、新工場として予定通り操業を開始することが出来ました。

今後の当社へのご期待をお聞かせください。

当社はリニューアルプランを推進していく中で、さらにお客様に喜ばれる高付加価値製品を開発、提供していくために、常に「スマートファクトリー」であり続けることを目指して取組みを加速していきます。

八洲電機グループさんの総合力と最新テクノロジーに基づく提案に大いに期待しています。



JFE精密株式会社 コーティング新工場

産業・交通事業

Industrial and Transportation Business

LEDの光明が環境経営の機運を照らす

迅速対応と円滑な現場調整力により環境投資の推進を後押し

産業界では、中長期の投資戦略として企業価値向上に繋げつつ、環境課題に取り組む企業が増えています。

第一三共ケミカルファーマ株式会社 小名浜工場様では、再生可能エネルギーを導入するなど、環境配慮を目的とした投資を積極的に行っています。

そのような中、今回の案件では、「働きやすい」職場環境づくりの一環として、夜間の構内通路の安全確保のため、外灯のLED化を検討され、当社にご相談いただきました。計画、費用見積りから施工に至るまでを当社が請負い、問題解決に寄与しました。

導入事例のご紹介

第一三共ケミカルファーマ株式会社 小名浜工場様

貴工場の事業と、当社との取引経緯をお聞かせください。

第一三共ケミカルファーマは、第一三共グループの一員として、医薬品原薬及び治験原薬を製造しています。小名浜工場は高血圧や高脂血症などの循環器系原薬を製造してきました。直近では、第一三共グループが「2025年ビジョン」として「がんに強みを持つ先進的グローバル創業企業」となることを掲げるなか、既存製品の品質維持向上、安定供給、コスト低減の継続的な推進と並行して、がん領域の新たな製品の生産体制構築を推進しています。八洲電機さんとは、当工場が竣工した35年前に、特高変電設備などの主要設備を建設いただいてから、取引が続いています。

近年実施された、工場全体にわたる構内通路の外灯のLED化についてお聞かせください。

当工場の製造現場は一部交代制勤務となっており、帰宅時間が夜間となる従業員もいます。そのような状況下、工場設立当初に設置された外灯の照度不足改善が課題となっていました。また、光源が寿命となった時のランプ交換には高所作業に伴い、その都度、コストと手間がかかっていました。

そこで、省エネとランプ交換の頻度減によるコスト削減が見込める外灯のLED化を検討しました。工場全体の外灯LED化にはかなりの初期費用がかかりますが、折しも、「再生可能エネルギーの導入」など中長期的視点に立った環境投資戦略の機運が高まっておりました。これを機に初期費用の予算化を果たし、実現することができました。完成後は従業員からも、とても明るくなったと大変好評でした。

八洲電機へのご評価と、今後のご期待をお聞かせください。

外灯LED化を検討していた時期に、八洲電機さんが特高変電設備の更新工事で入構されていたため、相談しました。「再生可能エネルギーの導入」は、敷地内の遊休地をグリーン



第一三共ケミカルファーマ株式会社 小名浜工場
工務課 主査 メンテナンスチームリーダー 兼 プロジェクトチーム 紺頼 良彰様

電力提供サービス事業者に貸し出し太陽光発電設備を設置し、工場へ電力を供給するというものです。この発電設備から特高変電設備への送電システムについても、八洲電機さんに施工していただきました。

外灯のLED化の検討時期は予算編成の直前でしたが、費用見積りについて地元の協力会社と円滑に連携し迅速に対応いただいたため、無事に予算が確保でき大変助かりました。

八洲電機さんは、長年の当工場の設備状況や施工情報を代々きちんと引き継いでくださるので、信頼してお任せすることができます。今後は変電設備に留まらず、電気系統設備や空調設備などでの技術力を活かして環境配慮への取り組みや効率化に資する提案、サポートを期待しています。



第一三共ケミカルファーマ株式会社 小名浜工場

産業・交通事業

Industrial and Transportation Business

科学技術の発展に貢献する総合技術会社と
教育・研究の場を協創する未来志向型ソリューション

産業界では、地球温暖化への対応、少子高齢化への対応、大規模災害からの復興と様々な課題に直面しています。こうした状況下、優れた人材を育成し、それらを活用したイノベーションを起こすことによって、持続的な経済成長や世界の発展に貢献していくことが期待されています。

株式会社島津理化様の案件では、未来を担う人材育成の場となる大学の研究施設新設に際して、研究、実験内容に応じた特殊空調設備をはじめ、各種設備の計画・見積から施工までを行い、同社の長年の経験が活かされたトータルコーディネートの円滑な実施に寄与しました。

導入事例のご紹介

株式会社島津理化様



株式会社島津理化
研究設備営業課 専門課長 大野 修平様

貴社の事業についてお聞かせください。

当社は株式会社島津製作所の創業事業である教育用理化学器械の専門メーカーとして1969年に分社・設立しました。その後、理化備品の納入等の実績で積み上げたノウハウを活かし、教育の場そのものの創設にも関わるようになり、認可に必要な申請手続きなども含め、総合的にコンサルティング業務を請負うようになりました。

この総合コンサルティングは、現在、医科理工系大学や短大・高等専門学校の新設や学部改組転換に関するトータルシステムインテグレートプロジェクト(TSIP)事業として確立し、実験機器や顕微鏡を製造・販売する理化教育事業、実験台やドラフトチャンバーなどの実験設備品を製造・販売する研究設備事業、海外進出支援事業と並んで、当社の主要事業の一つとなっています。

八洲電機グループとのビジネス連携についてお聞かせください。

TSIP事業において、大学等の新設の総合コンサルティングを請負った場合、計画から施工完了、引き渡しまで4、5年

の歳月を要します。計画の段階では、設計、図面作成はもちろんのこと、関係官庁への相談、届出方法、必要書類作成のサポート、また、必須となる施設やカリキュラムのコーディネートまできめ細かく対応します。

八洲環境エンジニアリング様には初期段階から協力していただき、多種多様な設備等の手配、見積り、そして施工現場での多数の納入、施工会社の管理、お客様へ引き渡し前の各種動作確認といった一連の業務を円滑に行っていたので、とても信頼しています。お客様に施設の引き渡しを終えたあともメンテナンス契約を結び、お客様、当社、八洲電機グループ様の3者間にて長いお付き合いをさせていただくことが多くなっています。

今後の八洲電機グループへのご期待をお聞かせください。

当社は、常にお客様とコミュニケーションをとり、その中からお客様のニーズそして時代の流れを読み取り、それらにお応えする形で新しい事業形態を生み出してきました。

教育現場へのIT導入の流れにもいち早く対応し、新しい教育・研究環境を提案してきました。

八洲電機グループ様にも、引き続きお客様のニーズにお応えするべく、最先端技術を駆使し、エンジニアリング力を発揮した新しい提案をいただけることを期待しています。



株式会社島津理化 本社 展示室

NEW NORMAL

八洲電機グループは、新型コロナウイルスをはじめとした感染症に対処するため、様々な機器やシステム製品に対応して、感染症対策に取り組んでいます。

感染症対策用陰圧装置

『簡易型陰圧ブースユニット』

病院や研究施設等において、ウイルス・細菌等の病原体による感染防止を目的とした感染症対策機器の「排気HEPAフィルターユニット」によって、簡易的に陰圧ブースを設置することができます。



排気HEPAフィルターユニット本体



株式会社
日立産機システム製品

- 一般病室を**陰圧対応可能**(屋外排気)
- 室内を**清浄化**(室内排気)
- 本体の差圧計でHEPAフィルターの目詰まり管理が可能
- AC100V電源で運転可能

検温サーマルカメラ

『体表面温度測定カメラシステム』

AI顔認証付きサーマルカメラで、一人用から多人数用まで非接触で測温。顔認証機能を使用した入退室管理システムとの連携も可能です。



● 主な機能



非接触測定

±0.3℃の精度で表面温度を表示。閾値を設定しておく、連携するアクセス制御を介して、入場停止やアラームを通知します。



データベース

10万件の画像を記録することができ、最大22,400人分を顔登録して個別に記憶できます。PCソフトから顔画像の一括登録も可能です。



入退室管理

顔認証機能と組み合わせて、従業員の出勤・退勤チェックに活用できます。



音声アラーム

測定異常、マスク非着用、顔登録の有無を0.5秒で判定し、音声アラームでお知らせします。



AI顔認証

顔データベースを照合し、登録の有無を即座に判断します。マスク着用でも判定可能です。



一括管理

遠隔地の端末を含め複数台をまとめて一括管理が可能。データリストやログも一括管理ができます。

Corporate Governance

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、八洲電機グループの持続的な成長と長期的な企業価値の向上を図る観点から、公正かつ透明な企業活動を行うことを経営の基本とし、この方針を支えるコーポレート・ガバナンスの重要性を充分認識し、経営の公正性・透明性を確保するとともに、迅速な意思決定の維持・向上に努めております。

当社は、実効性のあるコーポレート・ガバナンス体制として権限と責任を明確にした意思決定とこれを監視・評価する体制を整備し、より良いコーポレート・ガバナンスを追求し、その充実に継続的に取り組んでいくために、監査等委員会設置会社となっております。



コーポレート・ガバナンスのさらなる強化

当社は、2018年4月、なお一層の業務執行と監督の役割を明確化し、各機能の強化を図るため、上席執行役員制度を導入いたしました。

これにより、業務執行機能の拡充並びに意思決定の迅速化を図るとともに、取締役会の役割を経営方針の

決定及び業務執行の監督にさらに集中し、コーポレート・ガバナンスのさらなる強化を図っております。

なお、上席執行役員は、取締役会と業務執行との連携の必要性を考慮し、取締役(但し、監査等委員である取締役を除く。)を兼務する場合があります。

内部統制システムの整備と体制

業務執行を適正かつ健全に行うために、取締役会が実効性ある内部統制システムの構築と法令等遵守の体制を確立しています。また、監査等委員会は内部統制システムの有効性と機能を監査しています。

代表取締役直轄で、業務執行部門から独立した監査担当部署を本社内に設置し、グループ会社も含めて各部門に対して内部監査を実施し、内部統制の有効性を

評価・確保しています。

内部監査は、代表取締役の承認を得た年間計画に基づいて実施され、個々の内部監査の結果は、速やかに代表取締役と監査等委員会に直接報告されるほか、取締役会や経営会議においても報告されます。また監査担当部署は、各部門より監査結果に対する改善策の報告を受領し、改善策が適切に行われているか定期的にフォローしています。

輸出管理の体制及び取組み

当社は、継続的に輸出管理の強化、そしてさらなる改善を図るために代表取締役を最高責任者とする輸出管理体制を構築し、「安全保障輸出管理規程」を定め、「外国為替及び外国貿易法」などを含む法令に基づいた厳格な管理及びリスクに対する取引審査や出

荷管理、入庫管理などを実施しています。その管理はグループ会社も対象としています。

また、当社及びグループ会社も含めて、適正な輸出取引や通関手続きを実施するため、輸出管理に関する研修等を実施し、コンプライアンスの徹底を図っています。

通報・相談窓口の整備

当社は、八洲電機グループの「行動規範」に反する行為があること又はそのおそれがある行為に従業員が知り得た場合に、先ず上長に報告・相談することを基本としています。

しかし、このような報告・相談が難しい場合や適さない場合、問題等をより早期に発見し必要な対策を実施するために、八洲電機グループの共通窓口としてコンプライアンス担当部門、監査等委員会及び社外の法律

事務所の合計3ヶ所に「ホットライン」を設置し、従業員が通報・相談しやすい環境を整備しております。

ホットラインへの通報・相談については、「内部通報規程」において通報者・調査協力者の保護について具体的に定めており、当該案件の関係者すべてのプライバシー保護に配慮した調査を行ったうえで、是正・勧告などの対応を行います。調査結果は、取締役会や経営会議に報告し問題の解決や再発防止につなげています。

コンプライアンスに関する教育・研修

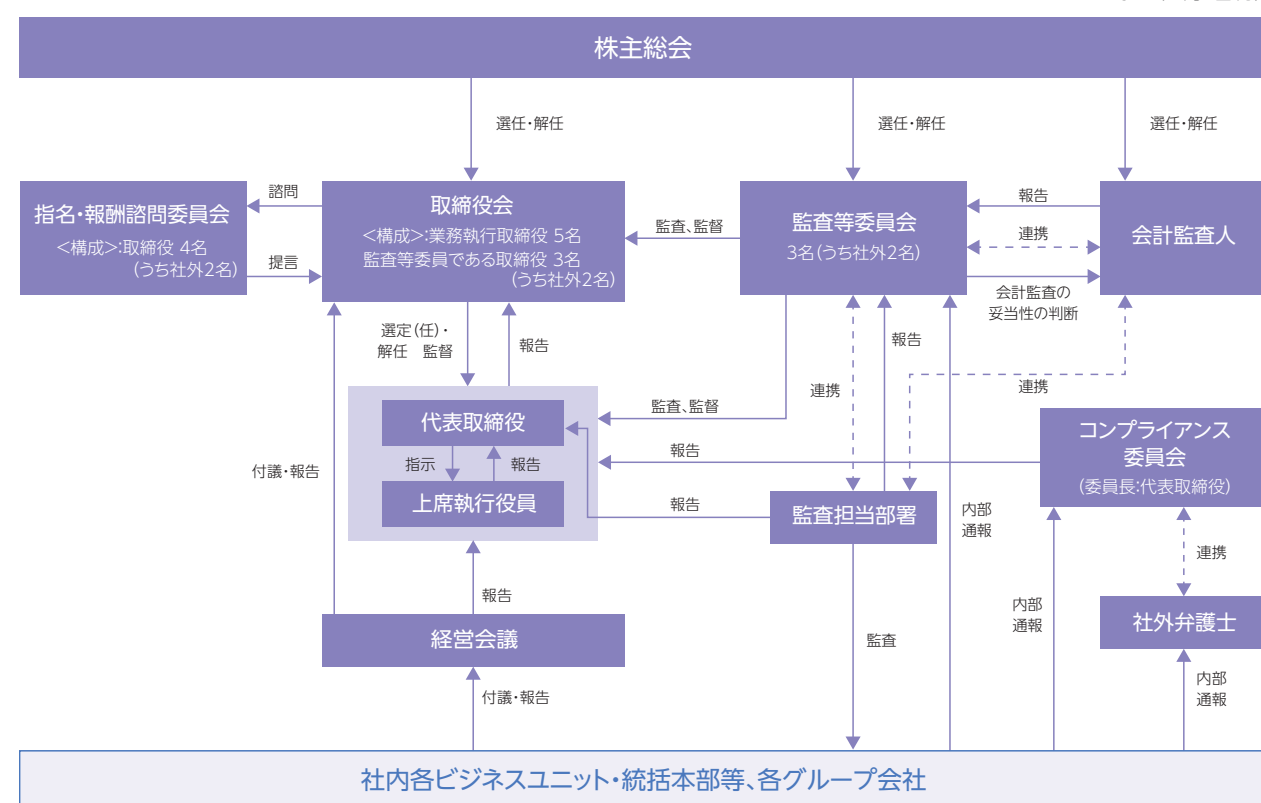
健全な企業活動を推進していくためには、法令や社内ルールを遵守するとともに、公正で自由な競争を行うことが求められています。

当社は、毎年、グループ会社を含めた従業員などを対象として、コンプライアンス研修を行っています。

2019年4月から、コンプライアンス・ニュースにケーススタディを掲載しました。これは、各職場で毎月ケーススタディについてグループ・ディスカッションを行うことを通じて、コンプライアンス意識の全社的な醸成・強化を図ることを目的としたものです。

当社のコーポレート・ガバナンス体制

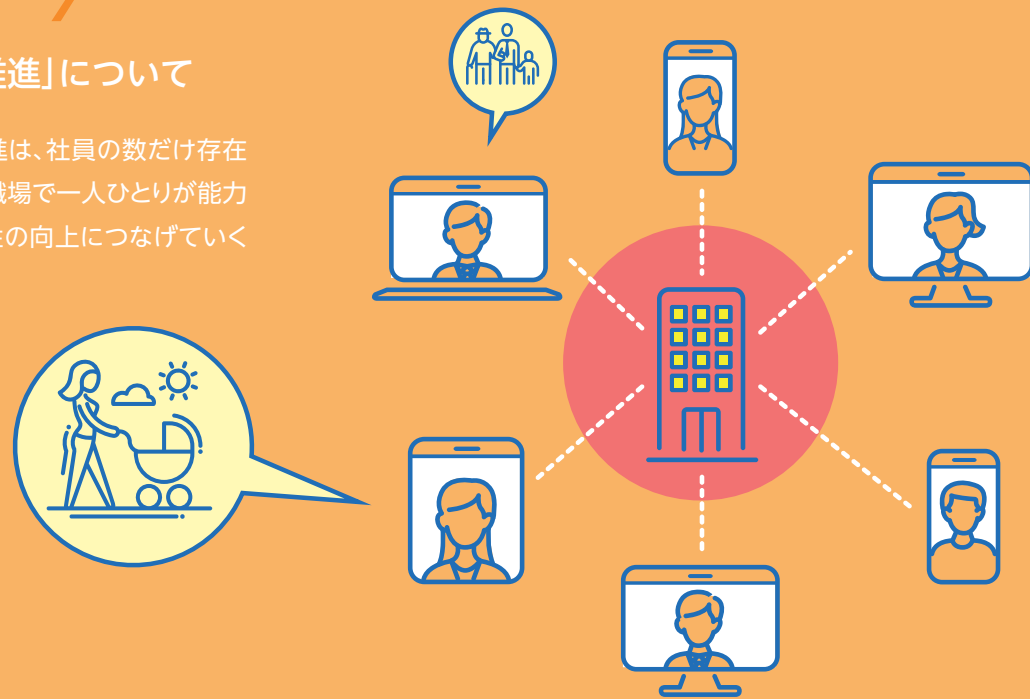
2021年4月1日現在



Diversity

「ダイバーシティ推進」について

当社のダイバーシティ推進は、社員の数だけ存在する多様性が尊重される職場で一人ひとりが能力を最大限に発揮し、生産性の向上につなげていくことを目的としています。



当社独自の働き方改革を目指して

働き方改革のすすめ

背景

少子高齢化の進行や労働力人口の減少に歯止めがかからない中、政府は一億総活躍社会の実現を標榜しています。当社も全社員総活躍会社を目指し、性別・年齢・障害を越えた真のダイバーシティ実現に向け、多様な働き方を受け入れる体制づくりに鋭意邁進中です。

目的

すべての社員が生活上のあらゆる制約を乗り越えて持てる力をフルに発揮し、存分にキャリアを追求できる会社となることです。社員の働く場所や働く時間を極力制限せず、各社員の都合に合わせた働き方の実現により、最大の成果をあげることを目的としています。

八洲の現状

当社の「働き方改革」は、「支援環境の整備」と「意識・行動の変革」の2つで推進します。創立70周年記念事業の一環として実施した本社ビルの建替えを機にワークスタイル変革プロジェクトが発足した際には、「支援環境の整備」を重点的に取り組み、現在は「意識・行動の変革」に対し、次の2つの施策に取り組んでいます。

なぜ「働き方改革」を行うのか？

「働き方改革」はどうやってやるの？

1 各種研修の実施

2 さらに女性活躍推進

当社は、ダイバーシティ推進の一環として、多様で柔軟な働き方を選択でき、いつでもどこでも仕事ができる制度・しくみ、環境を整えています。

働きやすい環境づくり、制度・しくみ等

ワークライフバランス

- 年末年始休日の拡大
- 一斉年休の拡大
- 積立年休制度
- 育児休業早期繰上げ支援金
- ジョブリターン制度

環境整備

- シンクライアント(モバイルPC) + スマートフォンの支給
- フリーアドレスの導入
- サテライトオフィス

長時間労働の是正

- 全館20:30完全消灯
- 勤務間インターバル制度

柔軟な働き方

- スーパーフレックスタイム制度
- 時差出勤制度
- 直行直帰奨励
- 在宅勤務

キャリア形成

- 総合職への転換推奨
- 派遣等非正規社員の正社員登用
- 定年者雇用制度の処遇体系改訂

さらに、生産性の向上に努められるよう、次の2つについて、推進しています。

1

各種研修でダイバーシティへの理解を深めています

管理職を対象に、組織の生産性を大幅に向上させるマネジメントスキルを学ぶ「イクボス研修」や、パワハラ防止のメカニズムを周知し、心理的安全性が確保できる職場環境を整える「ハラスメント研修」を実施しています。

2

さらなる女性活躍を推進しています

さらなる女性の活躍を推進するために、職場をよく理解している課長層9名と、審議メンバーとしてサポートをする部門長・部長層で構成した「ダイバーシティ推進プロジェクト」を発足させました。

本プロジェクトでは、女性活躍推進に関わる知識のインプットや、意見交換をしながら、改正女性活躍推進法に対応する女性活躍推進行動計画を次の通り策定いたしました。この行動計画に基づき、女性活躍フィールドの拡大を進めていきます。



【女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画】

期 間	2021年4月1日～2026年3月31日(5年間)
目標1	総合職の採用(新卒・中途)の女性割合を50%にする
目標2	柔軟な働き方に資する制度の利用実績を80%以上にする 「フレックスタイム・在宅勤務・直行直帰・サテライトオフィス」の制度・しくみを積極的に活用できる職場風土を醸成し、「生産性の向上」と「ワークライフバランス」の促進を図る ※制度を10日以上利用した月が10ヵ月以上(80%)ある社員の割合(年度毎で集計)
目標3	管理職の女性の人数を2020年度時点より2倍にする



Health Management

健康経営について

当社では、これまで従業員と家族の健康保持・増進のため、生活習慣病対策やメンタルヘルス対策等の各種施策に取り組んでまいりました。

より一層この取組みを強化すると共に「働き方改革」や「ダイバーシティマネジメント」と連携しながら「健康経営」を推進するため、「八洲電機健康経営宣言」を制定し、以下の重点施策に取り組んでまいります。



健康経営の取組み



健康経営優良法人2021認定
経済産業省と日本健康会議が選定する健康経営優良法人(ホワイト500)に2019年、2020年、2021年と3年連続で認定されました。

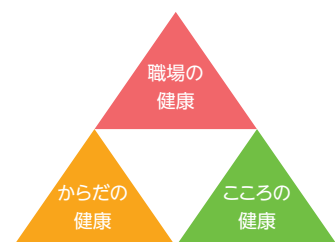


健康優良企業金認定
健康企業宣言東京推進協議会より、健康優良企業金に2020年、2021年と2年連続で認定されました。



スポーツエールカンパニー2021認定
スポーツ庁より、健康増進に向けたスポーツ活動の促進への積極的な取組みが評価され、スポーツエールカンパニー2021に初めて認定されました。

健康経営の重点施策



当社は、社員の健康維持、促進のため「職場」、「からだ」、「こころ」の視点で健康施策を実施してまいります。

① 職場の健康

- (1) 年間実総労働時間 ひとりあたりのさらなる減少
- (2) 有給休暇取得率のさらなる向上

② からだの健康

- (1) BMI値の低減 1日8,000歩歩こうキャンペーンの実施
 - 客先や駅など徒歩20分以内は歩く ●階段利用の促進 ●スタンディング会議の推奨
 - 運動靴・リュック通勤の推奨 ●ウォーキングイベントの開催
- (2) 喫煙率の削減
 - 社内の紙たばこ喫煙の禁止 ●禁煙外来治療費の会社全額補助
- (3) インフルエンザ予防接種費用全額補助
 - コロナ禍における事業継続、従業員の健康を守る観点から新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行に備えインフルエンザ予防接種費用の全額を補助いたしました。

③ こころの健康

- 産業保健スタッフ拡充による保健相談の利用促進

Environmental Activity Report

環境マネジメントシステムについて

当社は、環境保全に努めることは事業活動を行う企業として重要な使命であると考え、2001年7月に国際規格であるISO14001を導入しました。2019年度までにグループ会社5社が加わり、八洲電機グループは環境方針に基づく環境マネジメントシステムを積極的に展開しています。



地球温暖化対策

CO₂排出抑制貢献量の実績と計画

2021年度 CO₂排出抑制貢献量

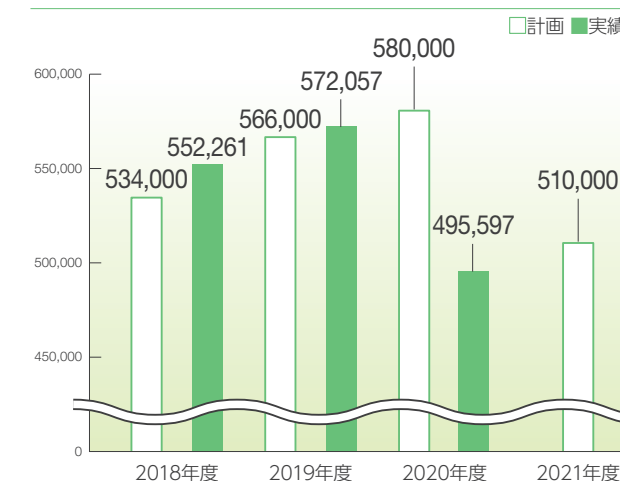
510,000トン (目標)

この活動は、お客様に納入する機器製品、システム製品のCO₂排出量を基準年(2005年度)に比べ、2021年度は510,000トン抑制するというものです。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止による緊急事態宣言の発令などの影響により、省エネ製品の売上遅延等が発生し、495,597トン(目標に対して85%)となりました。

2021年度は、目標達成に向け省エネ製品・システム製品の開発及びご提案等を積極的に推進し、CO₂排出量の貢献に努めてまいります。

CO₂排出抑制貢献量推移 (単位: トン/年)



- CO₂排出原単位は「環境省」発表の数値を適用
- 年度は毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間

再生可能エネルギー使用 CO₂削減実績

2020年4月から当社本社ビルの電力は、CO₂の排出がない再生可能エネルギー (バイオマス燃料) の100%使用を開始しました。2020年度は、299.3トンのCO₂削減を実現しました。

『八洲環境技術振興財団 2020年度は28名に研究開発・調査助成』

2020年度の助成は、選考委員による選考を経て、応募48件から28件の助成先を決定し、全国の国公立・私立大学及び高等専門学校の研究者28名に、助成金(100万円)を贈呈しました。

今回の受賞者には、地球温暖化防止の世界的テーマであるCO₂削減や再生可能エネルギーの研究のほか、騒音からエネルギーに変換させるシステムを開発、といったユニークな研究も選考されました。

また、国際会議・研究発表会等の参加及びシンポジウム等の開催への助成については、4件の助成(1件20万円)をしています。

なお、新型コロナウイルスの感染症拡大に伴い、環境技術分野における研究開発・調査に対する助成金の贈呈は、昨年に続いて中止とし、代わりに受賞者の方々には目録を郵送しました。